

山形県の古木・名木 No.102

専称寺の大イチョウ (せんしょうじのおおいちょう)

山形市緑町三丁目7

(案内略図)

専称寺のイチョウは、山形城主最上義光の愛娘駒姫の菩提寺である専称寺の境内にある。樹齢五百年を越える大木で、根周り7.5m、目通りの幹周り6.45m、樹高はおよそ25mで昭和40年3月5日に市指定天然記念物に指定されている。

このイチョウは、別名「雪降り銀杏」とも呼ばれ、葉が散ってからの雪は根雪になるといわれ冬支度の目安になっているなど、地域の生活にも深いかわりを持ってきた。
〔山形県森林協会〕



【森林やまがた128号(2010年7月)記載】